

民生福祉常任委員会記録  
(所管事務調査)

令和元年8月26日

【開催日】 令和元年 8 月 26 日

【開催場所】 第 1 委員会室

【開会・散会時間】 午後 1 時 30 分～午後 2 時 52 分

【休憩時間】 午後 2 時 35 分～午後 2 時 45 分

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	山田伸幸
委員	大井淳一朗	委員	水津治
委員	杉本保喜	委員	松尾数則
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】

市民部長	城戸信之	市民部次長	藤山雅之
市民課長	古谷昌章	市民課主幹	藤上尚美
市民課戸籍係長	別府奈緒美	市民課住民係長	岡崎さゆり

【事務局出席者】

事務局次長	石田隆	議会事務局主査	島津克則
-------	-----	---------	------

【付議事項】

## 1 所管事務調査 証明書コンビニ交付について

【議事の概要】

- ・ 目的は市民の利便性の向上及びマイナンバーカードの普及促進
- ・ コンビニ交付は全国 628 団体が実施し、県内でも 11 団体が実施
- ・ 対象の証明書は住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書、戸籍証明書（戸籍謄本・抄本）、戸籍の附票の写し
- ・ 契約の状況
  - ①山陽小野田市証明書コンビニ交付システム構築業務委託  
契約先 株式会社サンネット  
契約金額 4,620 万円  
契約期間 令和元年 7 月 8 日から令和 2 年 2 月 29 日
  - ②戸籍システムコンビニ交付対応業務委託  
契約先 日本電気株式会社 山口支店  
契約金額 715 万円  
契約期間 令和元年 7 月 8 日から令和 2 年 2 月 29 日
- ・ 特別交付税措置は上限 6,000 万円の事業費の 2 分の 1

## 【主な質疑】

大井淳一郎委員 市内にあるコンビニ全てで利用できるのか。

古谷市民課長 市内に限らず、市外のコンビニでも利用できる。

大井淳一郎委員 証明書の種類によって利用時間が異なるのはなぜか。

古谷市民課長 出生や死亡など戸籍の関係は休日や夜間でも届出があり、それが反映されていない事実と異なる証明書を発行しないために、市役所の開庁時間である平日の9時から17時までに限定している。

吉永美子委員長 利用時間はどこの市でも同じか。

古谷市民課長 県内全て同じである。

杉本保喜委員 契約先は県内で実績があるか。

古谷市民課長 他市も基幹系システムや戸籍システムを設置した業者と契約しているので、それぞれ違う。日本電気は宇部市とも契約しているが、サンネットは本市だけである。

水津治委員 今後の予定としてサービスの申込みとあるが、どこに行うのか。

古谷市民課長 コンビニ交付は地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が行っているので、市として参加申込みを行う。

水津治委員 不正防止のためコンビニでは店員が利用時にマイナンバーカードをコピーしたりするのか。

古谷市民課長 店員が関わることはない。コンビニにある端末を自分で操作し、証明書を発行する。そのときに本人確認としてマイナンバーカードを使用する。

大井淳一郎委員 マイナンバーカードが盗難に遭った場合、どのような対応になるのか。

藤上市民課主幹 盗難や紛失した場合、24時間体制のコールセンターがあり、届けがあった場合、一時停止の処置となる。また、コールセンターから市に連絡が入ることになっている。

大井淳一郎委員 証明書を発行した情報は市に入るのか。

古谷市民課長 毎月、件数の報告はあると思っている。

杉本保喜委員 先行実施しているところでトラブルはあるか。

古谷市民課長 重大なトラブルは聞いたことがない。通信障害が発生した場合には証明書を発行されないというようなことがあったと思う。

大井淳一郎委員 印鑑登録証明書がコンビニで取得できるが、マイナンバーカードに実印の情報が登録されているのか。

古谷市民課長 マイナンバーカードに実印の情報が入っているわけではなく、マイナンバーカードで本人を確認し、市の持っている情報が端末上に送

られ、印鑑証明書が発行される仕組みである。

松尾数則委員 手数料は窓口で発行する場合と同じか。

古谷市民課長 同じ料金である。

松尾数則委員 委託先2社に個人情報漏れることはないか。

古谷市民課長 それはない。システムを構築するだけである。

松尾数則委員 各コンビニと専用の回線でつなぐのか。

古谷市民課長 コンビニとの専用回線は地方公共団体情報システム機構が持っている。市はL G W A N回線（総合行政ネットワーク）を利用し、地方公共団体情報システム機構と情報のやり取りを行う。

杉本保喜委員 システムのメンテナンスはどうなっているか。

古谷市民課長 メンテナンスは必要であり、そのときはシステムを利用できないが、現時点ではいつ、何回やるかは考えていない。

水津治委員 本市のマイナンバーカードの普及率はどうなっているか。

古谷市民課長 7月末現在、交付枚数6,968枚、人口に対し11%である。

水津治委員 マイナンバーカードの普及促進策は何かあるか。

古谷市民課長 今後の課題である。

城戸市民部長 マイナンバーカードを利用したサービスが広がれば、増えてくるとは思う。

大井淳一郎委員 契約期間終了後も再度同じ業者と委託契約を締結するのか。再度契約する場合、委託料は幾らか。交付税措置はあるか。

古谷市民課長 保守管理の契約を結ぶ予定である。コンビニ交付が税別で月45万円程度、戸籍については詳細が決まっていない。令和3年まで運用経費に関して2分の1交付税措置される。それ以降のことは決まっていない。

矢田松夫委員 今回の事業は市民の利便性の向上とマイナンバーカードの普及のどちらが主な目的か。

古谷市民課長 両方とも大事である。現在はマイナンバーカードを持つことのメリットがないので、コンビニ交付を導入したい。

矢田松夫委員 市民の利便性の向上が主であれば、郵便局での交付の拡大が先ではないか。

古谷市民課長 コンビニ交付は市外でも利用できる。生活様式も考え、市外に通勤する人にとって地理的、時間的な制約を受けずに証明書を取れるのはメリットだと考えている。

矢田松夫委員 利用件数の見込みは立てているか。

古谷市民課長 開始から3年から4年後に人口の2%から3%、1,200件

から1, 800件利用されればいいかなと考えている。

矢田松夫委員 どのぐらいの利用率があるか考え、事業を実施するのではないのか。

古谷市民課長 他市の状況を聞き、感じたのは、早くから取り組んでいるところは利用が多い。下関市は住基カードのときから自動交付機をやっていたので、普及率も利用も多い。

矢田松夫委員 業務の開始は令和2年3月1日からか。

古谷市民課長 2月中に開始したいと考えている。

矢田松夫委員 どのように市民に周知するのか。

古谷市民課長 いつごろから始めますということは言えるが、具体的な日程は直前にならないと分からない。

大井淳一朗委員 入院中の親の住民票は取れるのか。除籍謄本は取れるのか。

古谷市民課長 除籍謄本は対象ではない。窓口と同様に住民票上の同一世帯であれば証明書を取ることができるが、別世帯であれば取ることはできない。

城戸市民部長 必ずマイナンバーカードが必要になるので、信頼される人にカードを預け、暗証番号が分かれば第三者でも発行できる。

吉永美子委員長 暗証番号があるということは、盗難に遭ってもすぐに使えるわけではないということか。

城戸市民部長 暗証番号が分からなければ、カードを使用し、証明書を発行することはできない。

水津治委員 端末機の設置場所にカメラは設置されるのか。また、コンビニに手数料を払うのか。

古谷市民課長 カメラが設置してあるかは不明である。コンビニには1件につき手数料117円を支払う。

吉永美子委員長 県内他市も手数料は同額か。

古谷市民課長 そうである。

山田伸幸副委員長 暗証番号が分かったカードを持っていれば本人と認めるということか。

古谷市民課長 理屈の上ではそうなる。

山田伸幸副委員長 暗証番号だけ、カードを持っているだけでは、セキュリティをたやすく破られそうだが、総務省は何と言っているのか。

古谷市民課長 情報漏えいに関して、総務省はセキュリティには万全を期していると言っている。

藤上市民課主幹 マイナンバーカードの不正について、市民課でカードを読み

取ると、I Cの内容が書き換えられているかどうか判別できるようになっている。

吉永美子委員長 当初予算では5,866万1,000円だったが、下がった理由は何か。

古谷市民課長 予算編成時は詳細が判明していない段階での見積りであり、実際には省くことのできる工程もあったため、結果として下がった。

吉永美子委員長 コンビニ交付を実施することが確実なのであれば、時期がはっきりしていなくても広報してもよいのではないか。

城戸市民部長 コンビニ交付の開始については10月1日の広報で出す予定である。

吉永美子委員長 マイナンバーカード普及のためキャンペーンなどの実施を考えてはどうか。

古谷市民課長 周知は大切であり、それによって普及が進むと思う。

山田伸幸副委員長 安全性の確保が重要であり、まだ、国民から安心感は得られていないため普及が進んでいないと思っている。政府は保険証と一体化させようということを言っているが、保険証と一体化すれば、健康情報も全て、このシステムから政府に情報が集中してしまうので、危険性があり、業界団体も反対しているところがあり、慎重にするべきだと思っている。本人確認について曖昧な回答しかない。二段階による本人確認についての見解を正式な文書でもらいたい。

古谷市民課長 二段階本人確認とは何か。

山田伸幸副委員長 二段階確認が常識になっている。マイナンバーカードを持っていることと暗証番号だけでは二段階確認とは言えないと思うので、総務省なりに確認を取ってもらいたい。

吉永美子委員長 本人であるという確認が曖昧ということだったので、不正使用にならないためにどうしているのか、理解できるように説明してもらいたい。

古谷市民課長 暗証番号は4回間違えると使えなくなるので、試行回数を増やし、暗証番号を入手することは防止している。(後日、「暗証番号を連続して3回間違えると、ロックがかかる」と訂正)

山田伸幸副委員長 本人確認についての重要性についても、きちんとした回答をしてもらいたい。要望である。

矢田松夫委員 証明書を取得するために本人確認は必要なのか。

古谷市民課長 必要であり、マイナンバーカードと暗証番号で行っている。

吉永美子委員長 メンテナンス日の周知は行うのか。

古谷市民課長 他市ではホームページで周知を行っていた。当市もホームページでの周知となるのではないか。

大井淳一郎委員 夜中などにメンテナンスを行わないのか。

古谷市民課長 他市の状況であるが、1日メンテナンス日を設けている。

令和元年8月26日

民生福祉常任委員長 吉 永 美 子